

東洋英和女学院小学部

【理事長】 増淵 稔

【部長】 吉田 太郎

〒106-0032 東京都港区六本木5-6-14 TEL 03-5411-1322 <https://www.toyoeiwa.ac.jp/shogaku/>

【交通】 東京メトロ日比谷線・都営大江戸線六本木駅、東京メトロ南北線麻布十番駅

キリスト教による人間形成を重んじる教育

学院標語 敬神奉仕 (マルコによる福音書 12章 30, 31 節)

敬神…心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、主なるあなたの神を愛せよ。

奉仕…隣人を自分のように愛しなさい。

キリスト教による人間形成ときめ細かな授業

キリスト教による人間形成を重んじ、毎朝礼拝を守っています。土曜日はお休みで、日曜日には児童を教会学校に出席させています。

また、基礎学力の充実をはかり、きめ細かな授業を行い、家庭との連携協力による生活指導を重んじています。日本人教師と外国人教師の協力により、ネイティブな英語教育を行っています。

特色ある東洋英和の「人間教育」

キリスト教教育 ● 個々の教会との協力によって、開校以来変わることなくキリスト教教育を行っています。一日は朝のお祈りで始まり、お祈りをもって終わります。全校礼拝と特別礼拝も数多く守っています。また、金曜日にはクラス礼拝があり、宗教教育のカリキュラムにそって担任が行います。

全校礼拝…全校の児童と教員が講堂で礼拝しています。

特別礼拝…クリスマス礼拝、イースター礼拝、ペンテコステ礼拝（保護者とともに礼拝しています）

教職員夕礼拝（児童下校後）

少人数教育 ● 5・6年の算数は20人程度で授業を行っています。今年度から、1年生は4人の担任で2クラスを担当します。

全校給食 ● 光と風と緑が実感できる南側二階食堂に全校児童と全教員が集まるの昼食です。6年生は毎日、低学年のお世話を交代でしています。配膳、盛り付けなど、具体的に人に仕えることを日常的に学んでいます。

元麻布仮校舎移転後も同様な給食の時間を持てるよう、準備を進めています。

夏期学校 ● 1年生から学院施設、冷暖完備の軽井沢追分寮を利用して、1～3泊で自然に触れ、神様の恵みに感謝し、友情を深める生活を続けています。異年齢交流の機会として、6年生と2年生は一緒に出かけて、それぞれよい学習と体験をしています。

英語教育（英語の学習） ● 1年生から歌やゲームをとおして楽しく学習。外国人教師とも英会話をし、国際理解にも役立っています。韓国の梨花女子大附属初等学校の児童と英語で文通を行い、互いの学校を訪問し合っています。

音楽教育 ● 授業以外にも毎日讃美歌を歌うなど、伝統的に音楽にふれる機会が多くあります。全校で集まるコンサートでは、オペラも歌います。

メールの時間 ● 多目的な時間。クラスの話し合いや児童活動の発表の場、学年や通学コース別の交流等の場として、児童の自主性を育てています。



沿革

1884(明治17)年、メソジスト教会の婦人宣教師ミス・カートメルにより、女子教育の学校として東洋英和女学校を創立。4年後に幼稚科を設置。同科を母体に1909(明治42)年に小学科を置く。現在、幼稚園から大学院までを置く総合学園となっている。

2025年度募集要項

募集人員：女子 50人

出願期間：10月1日

出願手続き：Web受付9月上旬～10月1日、郵送受付（10月1日消印のみ有効）の両方が必要

検定料：30,000円

面接：出願後から入学調査日までの間に行う。日時は願書受付後に知らせる。

調査日：11月2日 出校時刻は、提出されたはがきで通知

合格発表：11月3日

【かかる費用（2024年度参考）】

入学金：330,000円

授業料（年額）：550,000円

※その他、教育充実費、給食費など

初年度納入金合計：1,265,000円

併設中学進学状況

◆ 東洋英和女学院中部

※原則として希望者全員が進学可能

データパック

◆ 児童数 476人 / 教員数 41人（専任 26人）

◆ 24年度応募者数：585人（女子）

◆ 合格者数：50人

【併設校】

○ 東洋英和幼稚園

○ 東洋英和女学院大学付属かえで幼稚園

○ 東洋英和女学院中部・高等部

○ 東洋英和女学院大学

○ 東洋英和女学院大学大学院

上級学校に進むには

原則として、全員の中学部への進学を認めています。